

# 2016年度 審判講習会

## 他県の事例から学ぶ

(一財) 長野陸上競技協会 競技運営委員長  
日本陸上競技連盟技術委員 (J T O)  
青柳 智之

## 共有事例① トラック競技

・不正スタートにより失格と判定され、退場したA君から、予選終了直後に抗議。審判長は抗議を認め救済することとした。  
(100m3組2着+2)

競技場が9レーンだったので決勝は8名にA君を加えた9名で実施。



- A君は走っていない…。
  - 国際的には、次のように対応
    - ・ A君を1人で走らせる
    - ・ タイムが+2と比べて良ければ  
決勝に進ませる
- ⇒9レーンだったら+3名にしても



## 共有事例②フィールド競技（跳躍）

- ・52名が出場した走高跳予選  
コンディションが悪く、41名が記録なし  
⇒11名しかクリアできなかった。

R180-12…決勝は少なくとも12名で行う。

競技注意事項…12名に満たなかった場合、  
予選成績により追加補充される。



- これしか方法はなかった
- 事前にもっと対応できなかったか？  
(最初の高さを下げる 等)



## 共有事例③フィールド競技（投てき）

- ハンマー投に34名参加。
  - 競技開始後19名が終了したところで、  
光波測定器の測定結果に違和感  
…3～4mほど違っていた。
- ⇒19名の1回目の記録を無効にし、  
やり直しを決定した。



- 20～34番の選手は投げていない。
- やり直しの前に、全員の条件を同じにするために、20～34番の選手に練習をさせてから、1回目の試技のやり直しを行った。



## 他県から学ぶ①フィールド開始時刻

- 2014香川全中  
走幅跳の開始時刻が20分遅れる
- 2015北海道全中  
それを教訓にして準備を進めたが…  
開始が15分遅れた  
さらに、60分遅れて終了。



## 遅れの原因を分析する

- 招集は定刻に完了している。
- 全員の選手がベンチに着席するまで、10～15分かかっている。

▼ベンチに番号は振られていない

▼そこから練習の流れの説明…

**練習開始は10分後**



## 神奈川県陸協（JO）では

- **事前準備…ベンチには番号が貼られる**
- **招集完了に合わせ、フィールド主任が流れを説明。**



- ベンチに番号が貼られているから、そこに  
着席する
- 座ったら、まずスパイクを履き替えて
- スパイクを履いたら、マーカ―を置く
- その後、フリー練習
- ○分後から公式練習2回

⇒ 現地到着後の動きが非常にスムーズ  
普段からそのような運営をしている



# 走高跳 フリー練習の”交通整理”





# マーシャルの対応（周回競技との重なり）



## 他県から学ぶ②抗議に耐えられる体制

- 家庭用VTRがかなり普及  
低価格で、高画質
- 我々は、いつ誰に撮影されているか  
分からない状況である。

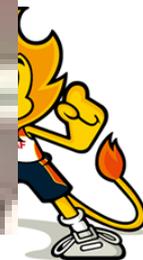


**JAAF**  
NAGANO

フアールじゃない！



フアールじゃない！



## 解決のポイント

- 審判長が現場にいた。  
(昼食もとらずに現場で指導)
- 微妙な判定なので、審判長含め複数の目で確認をしていた。
- 踏切位置表示板が正しく置かれていた  
⇒ 粘土の部分が白く映ったことによる誤解  
⇒ 反省点は、痕跡を一緒に確認せず



# 2016年度 競技会での重点

さらに魅せる競技会へ

(一財) 長野陸上競技協会 競技運営委員長  
日本陸上競技連盟技術委員 (J T O)  
青柳 智之

## フィールド競技の時間の意識向上

- **フィールド進行表**
- **招集所への事前説明**
- **練習時間の効率化**  
⇒ **定刻での競技開始**
- **競技終了時刻の意識**



## フィールド競技の時間の意識向上

- **競技結果の速報性**

競技終了後、すぐ記録の確定⇒発表

- **そのために、審判長は現場へ**

抗議対応への備え 一石二鳥



## トラック競技のミス減らす

- **黄旗に気づかず結果発表…訂正**  
「今のレース、OKです」の無線
- **監察のレース間違い 今何組？**  
審判長の隣に監察主任  
監察記録の専任化



## マーシャル・報道係のコントロール

- **競技会全体のコントロール**  
**接触事故等を未然に防ぐ**  
**整然とした競技エリア**  
**「魅せる競技会」の鍵**



2016シーズンも宜しくお願いします。

